

2023年度 筑波大学附属駒場中学校 国語 解答

大問一

問一

人は生きていく中で様々な「何か」に接触し、その都度、本能的に「何か」と自分との間に意味を構成し、世界を知っていくものだから。

問二

遊びも学びも、ある物を別の物に見立てる象徴機能によって、新しい意味を作ったり、試したりする営みである点で、本質的に同じものだから。

問三

遊びは苦しみや痛みを伴う知の構築であり、それを無意味とすれば、遊びの過程で人生の素晴らしさを教わる機会を失うことになるから。

問四 オ

大問二

問一

「暴れて」と「割った」の間に読点を入れることで、弟が暴れてガラスを割ったという意外な話に「わたし」が驚きながらも、事態を冷静に考えようと努めていることを表す効果がある。

問二

弟は、命あるものにも、ないものにも愛情を注ぎ、いつも慎重に、大切にあつまっているということ。

問三

弟…

障害をもっていることで濡れ衣を着せられたことに怒り、うまく言葉で反論できない悔しさを感じている。

わたし…

感情も思いやりもあるのに、障害のために無実の罪を着せられ、自分の気持ちをうまく言葉で伝えられない弟の無念さを察し、不憫に思っている。

問四

粉々になったガラスの破片が、勘違いして自分を責める祖母への怒りや、愛情を注いできたものを失った悲しみや絶望感という、弟の言葉にできない感情を象徴しているように見えるということ。

大問三

先んずれば人を制す

大問四

問一

花はずっとゆったりとした自然の営みのなかで生きてきたのに、時計のせいで、人間が勝手に作った時間に追われるようにせわしなく生きなければならなくなったから。

問二

人間は悪気無く花で美しい時計を作ってくれたのだが、そのせいでせわしない生き方を強いられている花たちが、ことさら丁寧な言葉遣いで、皮肉の意味をこめつつ、控えめに抗議しているということ。